

(公財) やまがた育英会

駒込学生会館 板橋学生会館

寮生保護者 各位

(CC:卒寮生、評議員、監事、理事各位)

新年に寮生の健康を祈る

～初詣と「納豆餅の会」～



▲初詣の後、納豆餅を食べ新春を寿いだ

山形県の名物、納豆餅。東北地方では一般的に食べられていますが、全国では茨城県や新潟県、京都府でも食されているようです。ただ、京都は、山形のように納豆をからませたものではなく、砂糖を加えて練った納豆を餅でくるんで食べると聞きました。(へえ～！)

年末年始を自宅で家族とともにという寮生がほとんどですが、1月の成人の日に開催される「二十歳の集い」に合わせ帰省し、そのため正月は寮に残るという学生もいます。せっかくお正月に寮にいるならただ部屋で過ごすよりと昨年から寮監企画で「初詣と納豆餅の会」を行っています。

山形県の名物と書きましたが、「納豆餅は食べたことがない」という鶴岡出身の女子学生がいて上山出身の寮監はびっくり。何人かに聞いたら「酒田でも食べない」と言われ、それならぜひ食べてもらおうと考えたのが始まりでした。クルミやぬた(ずんだ)餅と比べ準備するのが簡単なことも理由の一つですが・・・

1月2日朝、寮玄関に集合してもらい、旧荘内館時代から敷地内に祀られている「伏見稲荷社」に拝礼。寮監が祝詞を奏上し、寮生の身体健吾、学業成就をお祈りしました。その後、各々が参拝し希望の年となるよう手を合わせました。



▲庄内坂の途中にある「伏見稲荷社」

学生の手も借りながら納豆餅の準備です。今年は納豆餅に驚きをもたない山形市内の学生ばかりでしたので手際よく進めることができました。納豆に特製の醤油ダレ、刻みネギにユズ、大人用は一味唐辛子も入れるのが石井家正月伝統のレシピです。寮生の食事作りを担う芹澤管理人と杉田寮母も参加してくれ、庄内産の丸餅に上記の納豆をからめて提供したところ、みなさん「おいしい」と用意した1kgの餅は瞬く間になくなりました。

寮生そしてご家族のみなさんも納豆のように粘り強く、焼きあがる餅のように夢が膨らみ、良いことがいつまでも糸を引く年となりますように・・・

板橋・駒込2つの寮会が

板橋・駒込両寮とも原則、毎月第3金曜日の夜に学生同士が話し合う「寮会」が開かれます。

食事の出ない板橋寮では、寮会に食事を付けることで参加率を高めようとの狙いもあり、毎回、寮生が海鮮丼やカツ丼、ピザ、カレーといった自分達が食べたいメニューをリクエストします。12月の板橋寮会は「クリスマス会」として12日午後6時から開催されました。Xmasの献立は、高級生寿司に手巻き寿司手羽先チキンと唐揚げ、ピザ、フライドポテト、それにイチゴのショートケーキまで付く一年の中で最も豪華なものとなりました。会場の食堂の飾りつけも自分たちで行い、大学の様子、正月の過ごし方、春休みの計画などを話題に盛り上がりました。



▲自分たちで飾ったディスプレイの前で（板橋寮）



▲ズラリ並んだご馳走

駒込学生会館の12月寮会は、19日午後9時30分から多目的室で開催され、「インフルエンザが流行っているので注意」など生活面で気を付けることなどの伝達があり、その後、海外留学支援で渡航した殿岡 稟太郎君と浦山 真依さんの2人がその成果を感想とともに報告しました。（概要は下記に）



▲駒込学生会館の12月寮会



殿岡君はクイズ形式で発表し、正解者にはアメリカ土産がプレゼントされた

アメリカのスポーツ文化に触れる

殿岡 稟太郎 君（日本大学 文理学部
体育学科2年 米沢中央高卒）

- 期 間 9月9日～16日
- 視 察 先 グリフスパーク・カリフォルニア
ドベンチャーパーク・UCLA ロサン
ゼルス校・サンタモニカビーチ
- 研修内容 アメリカ合衆国のスポーツ施設やカ
レッジスポーツ試合環境等



▲殿岡稟太郎君

○気づきと感想

- ・日本とアメリカ西海岸のスポーツ環境の相違点は2つ
 - ① **設備の充実**（ビーチにも筋トレできる器具が備わっているなど常に良い環境でスポーツに取り組むことができる）
 - ② **練習時間が短い**（日本では練習時間が長いことによって必要のない体力まで消耗し怪我に繋がることもある）
- ・アメリカと比べて設備を含めた練習環境、また体格でも劣るが、どのようにしたら勝てるか考えられるのが日本人の強さなのではと感じた。その克服手段の一つとして海外スポーツ留学があると思った。
- ・今後、競技（陸上走り幅跳び）を続けていくにあたって海外留学も視野に入れて取り組んでいきたい。

ネパールでの教育支援



▲報告する浦山 真依さん

浦山 真依 さん（東京大学 文科Ⅲ類4年 山形東高卒）

○期 間 7月24日～9月24日

○留 学 先 Biratnagar（ビラトナガル）ネパール

○内 容 YouMe School の日本語教師としてインターンシップ。花笠踊りやうどん作りなど日本文化の紹介も行った

○気づきと感想

- ・インターンシップに参加した目的は
 - ① 海外での生活で「自分の当たり前」について考え直す
 - ② 日本の教育を比較相対化すること

・生活の当たり前について

トイレットペーパーは使わないし、お金持ちの家にしか洗濯機は無い。蛇口から出てくる水はきれいとは限らないし、シャワーはお湯が出ることがほとんどない。停電も日常的。いかに日本の生活が快適で機能に恵まれているか分かったが、必ずしも必要なものばかりではないと感じた。

・時間の感覚や物事の捉え方

自分というものがはっきりあり、いやなものは嫌という。その一方で2時間ほどの遅刻は当たり前。文化面では老若男女が祭りを大切にし、祭りで授業が中断されることのしばしばで、ことあるごとに踊る。

・日本の教育の相対化

先生が生徒を叩くことも怒鳴ることも正しく、保護者もそうすることが当たり前。数十年前の日本のような状況。学習科目は体育、家庭科、音楽は無く、代わりにダンスがある。部活動もない。だから日本がいいかと言えば、すべてというわけではなく、どの部分を残しどこを変えていくべきか考えていかなければと思った。

・ネパールで得た気づき

○（日本での）当たり前は、当たり前ではない

○ゆっくり生きてもいい！

※帰国後、現地の生徒 5 人と先生 1 人を日本に招く

「日本スタディツアー」のプロジェクトを立ち上げ活動を行っています。



「やまがた育英会」美術品シリーズ ⑦

駒込学生会館、板橋学生会館には多くの絵画や美術品が飾られています。それをシリーズで紹介しています



駒込学生会館 管理人室前廊下

待 春 No.3

◇作 者 半 澤 満

◇作 品 油 彩 2003 年制作

◇大 き さ 85cm×60cm

※ガラスの反射と画像が斜めになっていることをお許しください

- ・ 1938 年 山形県羽黒町（現鶴岡市）生まれ
- ・ 1951 年 白鷺社展初入選
- ・ 1976 年 東美展大賞
- ・ 1978 年 紺綬褒章受章
- ・ 2004 年 仏プロア城国際芸術祭でルイ 12 世芸術至宝賞
- ・ 2008 年 鶴岡市政功労者表彰
- ・ 2015 年 喜寿個展（画業 45 周年記念展）
やまがた育英会『予餞会』で講演「絵描き恥かき 30 年」
- ・ 現 在 双樹会参与

芝蘭結契 ～寮生の活躍にみんなで拍手～

「芝蘭結契（しらんけっけい）」とは、よい感化をもたらす才能・人徳に優れた人との付き合いのこと。スポーツに限らず音楽や絵画、文芸などの芸術文化、各種コンテスト、サークル活

動などでの寮生の活躍を紹介し、みんなで称えあいたいと考えています。それが、寮生の気づきや励みにもなるからとの思いです。



▲表彰台の一番高いところに立つ押野君

東日本学生レスリング選手権大会

新人選手権 フリースタイル 79 kg級 優勝

押野 健太郎 君（立教大学 経済学部 1 年 山形南高卒）

令和 7 年 11 月 27 日から 29 日まで駒沢オリンピック公園総合運動場で開催され、日本体育大学など強豪 7 大学が参加。そのなかで見事、優勝を果たしました。今年の目標は全日本学生選手権（インカレ）で日本一を目指すことだそうです。



▲果敢な攻めで相手を圧倒（左：押野君）



▲昨年の寮祭でも素晴らしい演奏を披露してくれました

管弦楽団で見事な演奏

ヴァイオリン 本間 光さん（上智大学
法学部 3 年 山形東高卒）

東京大学フォイヤーベルク管弦楽団第 5 4 回定期演奏会が、令和 8 年 1 月 1 0 日、ミューザ川崎シンフォニーホールで行われました。東京大学の学生

が中心ですが、大学や年齢を問わず団員になれることもあり、学生が組織する管弦楽団として高い評価を得ています。

当日の演奏曲は、ブラームスのピアノ四重奏曲第 1 番。シェーン



▲会場のミューザ川崎

ベルクが管弦楽へと編曲した難しい曲ですが、本間さんは、ヴァイオリンのパートリーダーとして見事な演奏を披露し大きな拍手浴びました。駒込寮からは同学年女子 5 名が応援に駆けつけ「わが寮の誇り」と口々に話し、本間さんの素晴らしい演奏と仲間の美しい心に寮監はまた胸が熱くなりました。



▲本間さんの演奏を聴きに行ってくれた駒込寮 3 年生の 5 人

令和 8 年度 新入寮生を募集中 ～後期は 3 月 6 日まで～

学校推薦選抜者等を対象とする前期募集では募集定員の 2 倍を超える出願をいただきました。引き続き一般選抜合格者を対象とする後期募集を行っています。知人等に首都圏の大学、専門学校に進学される方がいらっしゃれば、ぜひお勧めください。

◆締め切り 3 月 6 日（金）まで

◆応募方法 やまがた育英会ホームページから Web で <http://yanagata-ikueikai.or.jp>

卒寮生を送る「^{よせんかい}予餞会」を開催します

◇日時 2 月 1 日（日）15:00～17:30

◇会場 駒込学生会館 多目的ホール

- ・鈴木代表理事あいさつ
- ・来賓祝辞（山形県東京事務所長）

・講演 「防衛省勤務 40 年を振り返る」

講師 元防衛事務次官 黒江 哲郎 氏（山形東高・東大卒）

昭和、平成、令和の三代にわたる国際安全保障環境の変遷と日本の防衛政策の変化、その中で黒江氏が防衛省の中でどのように働いてきたかなどを紹介しながら、社会に出て働く際の大切な点などをお話しいただきます。

- ・卒寮学生の決意表明（駒込前々男・女各寮長 板橋寮代表）
- ・卒寮生へ記念品贈呈
- ・海外留学（遊学）支援帰国学生の報告
- ・懇談会＜料理＞おでん、芋煮、とりの唐揚げ、焼きそば、つや姫おにぎり、ミカン等
- ・閉 会



▲昨年の「予餞会」の様子 鈴木代表理事から
学生の代表に記念品が渡された

※予餞会：卒業式以前の学年末の時期に、卒業を控えた最終学年の学生や生徒を送り出す目的で開催されるもの。多くは卒業式のような厳粛な内容ではなく和やかな形が多い。

この言葉は現在あまり用いられなくなりましたが、やまがた育英会では古き良き伝統を残そうと敢えてこの名称を使用しています。

※急な案内になりますが、ご都合のつく保護者の方はぜひお越しください。

（公財）やまがた育英会
寮 監 石 井 隆

ご意見・ご感想をお待ちしています

t-ishii@yamagata-ikueikai.or.jp